

展示会情報

展示会名：

2018防災産業展in東京

会期：2018年5月30日～6月1日

場所：東京ビッグサイト

主催：日刊工業新聞社

展示会来場者数：41,354名(3日間)

※同時開催展からの来場者を含む。

2018防災産業展in東京 自治体職員向けイベント開催報告



日本能率協会コンサルティング(JMAC)は、この度、2018年5月30日(水)～6月1日(金)に東京ビッグサイトにて開催された展示会：2018防災産業展in東京(日刊工業新聞社主催)において、日刊工業新聞社共催“自治体職員向け再生可能エネルギー・スマートコミュニティ勉強会&ブースツアー”を開催いたしましたので、ご紹介いたします。

概要

再生可能エネルギー・スマートコミュニティ勉強会&ブースツアー

開催日時：2018年5月31日(水)10:00～16:00

開催場所：東京ビッグサイト東ホール 2F会議室

担当講師：(株)日本能率協会コンサルティング

企画営業本部 シニア・コンサルティングプランナー 江原 央樹

地域の未利用エネルギーならびに省エネ促進の取組みをこれから検討しようと考えている自治体職員の方を対象に、再生可能エネルギーやスマートコミュニティに関する勉強会ならびに関連するソリューションの出展ブース見学ツアーを開催しました。今年で四年目を迎える本イベントには、8名の官公庁・自治体の方が参加され、今後検討に取り組むにあたっての基本的な考え方やスマートコミュニティの導入事例等を学ぶと共に、参加者同士の交流を図りました。

■タイムスケジュール

10:00～11:30

再生可能エネルギー・スマートコミュニティ勉強会

13:00～14:30

防災産業展・バイオマスエキスポ出展ブースツアー

14:50～15:50

交流ワークショップ(参加者同士の名刺交換・交流)

15:50～16:00

まとめ・アンケート記入



■ブースツアー見学先情報(順不同)

企業・団体属性	取り組みやソリューション概要
官公庁	エネルギー関係の国の施策等
基礎自治体	「エネルギー自律型のまちづくり」の取り組み
研究団体	竹を活用した熱利用の取り組み
発電設備製造	小型木質バイオマス熱電併給装置
蓄電池製造	コンパクトな「ポータブル蓄電システム」等
自動車製造	燃料電池自動車等による防災ソリューション



参加者の声

再生可能エネルギー・スマートコミュニティ導入検討について、さまざまな問題意識をお聞きすることができました。

取り組み課題	悩み
10kW以下太陽光発電の余剰買取が終了する2019年問題への対応	地域の新電力が買取を引き受ける仕組み作り
再生可能エネルギーを活用したまちづくり	地域ごとのビジョンづくり・地域の理解不足・実施主体が不明確
地域におけるスマートコミュニティ導入検討支援	スマートコミュニティがもたらす価値の明確化と地域への共有方法(定量化等)
主要産業の自動車産業におこるEVショックへの対応	新産業としてのエネルギー産業化に向けた産学官連携の在り方検討
防災を主とした再生可能エネルギー導入	現事業の今後の在り方や方向性

イベントを終えて

今年の2018防災産業展in東京、併催展のバイオマスエキスポ2018や関連イベントの“再生可能エネルギー・スマートコミュニティ勉強会 & ブースツアー”の開催を通じ、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の活用にとどまらない、自家消費型の再生可能エネルギーの具体的な活用事例が増えつつあると感じました。昨今の持続的な社会実現に向けた取り組みとして、世界的な温暖化対策への取り組みの拡がり、日本のパリ協定批准や第5次エネルギー基本計画における再生可能エネルギーの主力電源化に向けた方向性の提示等を受けて、今後、国内でも更に再生可能エネルギーの導入と活用に向けた本格的な検討が増えることが予見されます。その際に弊社が非常に重要だと考えている点は以下の三つです。

1. 地域課題解決(目的)を明確にし、エネルギー(手段)の有効活用方法を考える
2. 電気と熱の両面から地域の再生可能エネルギーを探索・検討する
3. エネルギー事業の経済性のみならず、地域の便益につながる取り組みとする

これらの実践に向けては、

- ・ 地域の課題を網羅的に把握し、優先課題を抽出する
- ・ 地域を特定し、利活用可能な再生可能エネルギーを把握する
- ・ エネルギーの有効活用による地域課題解決の受益者とそのメリットを明確にする

といったことに取り組んでいくことが必要です。弊社は、約7年に渡る「再生可能エネルギーやスマートコミュニティの導入検討支援」によって得られた知見やノウハウをベースに、全国の多種多様な地域性に寄り添い、各地域の課題解決のための再生可能エネルギーやスマートコミュニティ活用検討支援を今後も行なってまいります。

再生可能エネルギー・スマートコミュニティ事業支援サービス

再生可能エネルギー・スマートコミュニティに関連した事業は多岐に渡るため、対象地域を定め、その地域の課題、課題解決に向けたエネルギーの活用方法や活用可能な再生可能エネルギーについて具体的な把握を行うと共に、自社の強みをベースにした事業コンセプト・スキーム・計画の策定を行うことが重要になります。

弊社は、全国における多種多様な地域支援の知見をベースに事業計画策定のご支援を致します。

弊社が支援する事業計画策定 5つのステップ

- 地域の特定
- 地域課題の抽出
- 課題解決策(ソリューション)の検討

地域課題の
明確化

事業構想立案

エネルギー
活用の検討

- エネルギー種類選定
- 設備導入の検討
- 導入場所の検討

事業コンセプト立案

- 事業コンセプト・スキームの検討
- 地域ニーズ仮説の検証
- 実現課題の抽出

事業体制構築

- 事業実施体制の検討
- 資金調達方法の検討
- 展開可能性の検討

事業実現性の検証

- 事業課題、技術課題の抽出
- 地域ニーズの検証
- 資金調達方法の検討

事業計画策定

- 資金計画の立案
- 事業計画の立案

その他の支援サービス

◆ エネルギー生産性向上(省エネ)支援

昨今、工場においては、高効率設備の導入や全社員参加型省エネ活動による取り組みが一通り行われ、大きな効果が見込めなくなりつつあります。弊社では、モノづくりの生産性(品質)向上に結びつく新たなアプローチによる省エネルギー実現を支援致します。

◆ エネルギー人材育成支援

地域における再生可能エネルギー・スマートコミュニティの導入や事業化の検討では、エネルギーに関する、政策・技術・設備機器・システム・サービス・法制度・地域特性など様々な領域の知識と課題への対処が必要となるため、これから取り組む方を対象とした入門的な教育支援を行っております。

◆ セミナー・イベント企画・講演

地域における再生可能エネルギー・スマートコミュニティの導入や事業化の普及には、すべての関係者の間で検討に必要な共通の知識や考え方を共有することが第一に重要です。そこで、基本的な考え方や検討のポイントを地域に普及するためのセミナー・イベントの企画や講師派遣等を行っております。

ご不明な点やご相談がございましたら、お気軽に本冊子末のお問い合わせ先までご一報ください。

■エネルギー支援に関する弊社ホームページ

<https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/>

■再生可能エネルギー・スマートコミュニティ導入・事業支援に関するお問い合わせ先

株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)
105-0011 東京都港区芝公園3丁目1-22 日本能率協会ビル 7階
企画営業本部 エネルギー産業担当 江原
Tel 03-4531-4316
E-mail ; energy_jmac@jmac.co.jp